

吹田市立図書館メールマガジン

Vol. 437 2025. 12. 10

吹田市立図書館は、令和7年（2025年）12月22日（月曜日）から令和8年（2026年）1月8日（木曜日）まで、システム機器更新のため全館休館します。また、12月25日と1月10日のメールマガジン配信もお休みします。年末年始に読む本の準備がまだの方は、どうぞお早めにご来館ください。

-----<< 目 次 >>-----

- \* 図書館インフォメーション
- \* 本の紹介<蔵出し一冊>
- \* 観る・聴く・読む<すいぽんセレクション>
- \* 郷土の本だけでなくピックアップすいた>
- \* 月間予約ランキング（文芸）
- \* 休館（室）日のお知らせ

- 
- 図書館インフォメーション
- 

《図書館システム休館とホームページ停止のお知らせ》  
図書館システム機器更新のため、令和7年（2025年）12月22日（月曜日）から令和8年（2026年）1月8日（木曜日）まで全館休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

- ・12月8日（月曜日）～21日（日曜日）の間は、図書・雑誌・マンガは20冊借りられます。（令和8年1月9日からは15冊に戻ります。）返却日は令和8年1月15日（木曜日）まで延長します。
- ・休館中は、図書館内への立ち入りはできません。自習室も休室します。
- ・ホームページはご利用いただけません。（蔵書検索、貸出・予約情報の照会なども含む）
- \* 令和7年（2025年）12月21日（日曜日）午後8時から令和8年（2026年）1月9日（金曜日）午前10時まで停止します。
- ・返却ポストはご利用いただけます。
- \* ただし、返却処理に時間がかかります。
- ・「すいた電子図書館」はご利用いただけます。
- ・メールマガジンについて、令和7年（2025年）12月25日と令和8年（2026年）1月10日の配信はお休みします。

詳細はこちら→  
[https://www.lib.suita.osaka.jp/important/post\\_24.html](https://www.lib.suita.osaka.jp/important/post_24.html)

《図書館サービス変更のお知らせ》  
令和8年1月9日（金曜日）午前10時から、図書館サービスの一部が変わります。

- ・ホームページのリニューアル
- ・データベース・インターネット端末
- ・中央図書館の自習室

詳細はこちら→  
[https://www.lib.suita.osaka.jp/news/post\\_152.html](https://www.lib.suita.osaka.jp/news/post_152.html)

- 
- 本の紹介<蔵出し一冊>
-

図書館職員が今までの読書体験の中から紹介する珠玉の1冊！

『子どもはみんな問題児。』中川李枝子／著（新潮社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102207046>

絵本『ぐりとぐら』の作者で知られる著者、中川李枝子さんは保育園で保母（保育士）を17年間されていたそうです。子供たちと無我夢中で向き合う中でわかったこと、子育て、絵本のことなどが、読者に語りかけるように書かれています。子供と喜びを共有する大切さや子育てを楽しむヒントも載っています。（C）

↓↓<蔵出し一冊>のバックナンバーはこちらへ！↓↓  
[https://www-std-pub02.unity.jp/suitalib/?page\\_id=174](https://www-std-pub02.unity.jp/suitalib/?page_id=174)

■□-----  
□■ 観る・聴く・読む <すいぼんセレクション>  
■□-----

令和7年（2025年）は上方落語四天王の一人、三代目桂米朝の生誕百年にあたります。米朝は第二次世界大戦後、上方落語の継承・復興に力を注ぎ、多くの噺（はなし）を復活させました。その尽力により落語人気も再燃、上方落語中興の祖とも呼ばれています。今回は落語に関する資料をご紹介します。

【図書】『米朝らくごの舞台裏』小佐田定雄／著（筑摩書房）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102217500>  
米朝とも親しくしていた落語作家である作者が、米朝の芸と人柄について、芸談や思い出話を交えつつ書き記した本。選りすぐり40席の舞台裏噺と、米朝に関するCD・DVD・書籍などの情報も掲載しています。

【図書】『上方落語寄席囃子の世界 1 解説編』林家染丸／著（創元社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101781119>  
落語家が登場する時の音楽は出囃子（でばやし）といい、ひとりひとり曲が決まってるそうです。ちなみに米朝は「三下り鞆鼓（かつこ）」、「都囃子」。シリーズ2は譜面編、3はCD編。音楽で米朝を感じてみませんか。

【図書】『<図説>はじめての古典落語』永井義男／江戸風俗解説（学研プラス）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102606397>  
「寿限無」「目黒のさんま」など古典落語の代表的な演目50席のあらすじを、江戸の文化もまじえながらわかりやすく解説。

【図書】『昭和元禄落語心中』雲田はるこ／著（講談社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102152508>  
昭和の落語界を舞台に、同期入門した八雲と助六の友情と芸への業を描いたマンガ。アニメやドラマ、ミュージカルにもなっています。全10巻。

【CD】『地獄八景亡者戯／桂米朝』  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1300953890>  
米朝がよみがえらせた噺の一つ。腐りかけの魚を食べて死んだ喜六が、観光気分で地獄めぐりをするおはなしです。随所に時事ネタが入っているのがポイント。

↓↓図書館の特設情報は、公式Facebookへ↓↓  
<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>

■□-----  
□■ 郷土の本だなくピックアップすいた>  
■□-----

<<メイシアターのシンボル「空のイメージ」>>

演劇や文楽、コンサートなど、吹田市民が日頃から多様な芸術や文化に

触れられる場として親しまれているメイシアターは、令和7年（2025年）4月に40周年を迎えました。昭和60年（1985年）の開館から、その歴史をずっとロビーで見守ってきたのは、大きな雲、降り注ぐ雨、風を受けて羽ばたく鳥などが表現された彫刻家・新宮晋さんの作品「空のイメージ」です。新宮さんは自然の力で動く様々な造形作品を生み出し、昭和45年（1970年）日本万国博覧会を飾るアーティストの一人にも選ばれ、昭和61年（1986年）には日本芸術大賞を受賞されました。建造物に空を表現した美しく力強いデザインは、人々の心に新鮮な印象を与え続けています。

『ぼくの頭の中 2』新宮晋／著（ブレーンセンター）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102941714>  
自身の作品群を手描きのデザインと文、写真で綴ったスケッチブック。  
p. 41～p. 45にメイシアターの作品が掲載されています。

『メイシアター 吹田市文化会館』（吹田市文化振興事業団）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1100543149>  
メイシアター開館時に発行されたパンフレット。「空のイメージ」はもちろん、各ホールなど館内の写真が大きく掲載されており、40年間、美しさを保ったまま大切に使用されてきたことが伝わります。

↓↓<ピックアップすいた>のバックナンバーはこちらへ！↓↓  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=410](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410)

■□ -----  
□■ 月間予約ランキング（文芸）  
■□ -----

- 1位 『さよならジャバウオック』伊坂幸太郎／著（双葉社）
- 2位 『志記 1』高田郁／著（角川春樹事務所）
- 3位 『平場の月』朝倉かすみ／著（光文社）＊単行本
- 4位 『変な地図』雨穴／著（双葉社）
- 5位 『彼女たちは楽園で遊ぶ』町田そのこ／著（中央公論新社）
- 6位 『エピクロスの処方箋』夏川草介／著（水鈴社）
- 7位 『女王さまの休日』古内一絵／著（中央公論新社）
- 8位 『マスカレード・ライフ』東野圭吾／著（集英社）
- 9位 『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ／著（日経BP日本経済新聞出版）
- 10位 『平場の月』朝倉かすみ／著（光文社）＊文庫本

■□ -----  
□■ 休館（室）日のお知らせ  
■□ -----

≪全館休館日（北千里図書館以外）≫  
12月22日（月曜日）～1月8日（木曜日）

≪北千里図書館休館日≫  
12月22日（月曜日）～1月8日（木曜日）

\* 中央図書館の休館日には、自習室も休室します。  
\* 休館中は返却ポストにお返しく下さい。ただし、山田分室ではCD・DVDを返却ポストには入れず、開館時間中に館内の自動返却機にお返しく下さい。

=====

・次号は令和8年（2026年）1月25日配信予定です。  
・ご意見、ご感想、お問い合わせは  
<[https://apply.e-tumo.jp/city-suita-osaka-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=25696](https://apply.e-tumo.jp/city-suita-osaka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=25696)>まで。  
・メールマガジンの配信登録・変更・解除は、図書館ホームページ<Myライブラリ>からお願いします。

↓↓<メールマガジン>のバックナンバーはこちらへ！↓↓

<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1600000001>  
\* 2021年4月以降分。パソコン対応となります。

=====

編集・発行：吹田市立図書館

Copyright 2007 Suita Library

掲載内容を転載転送される場合は、図書館までお知らせください。

ホームページアドレス

<https://www.lib.suita.osaka.jp/>

公式X (旧Twitter)

[https://x.com/suita\\_toshokan](https://x.com/suita_toshokan)

12月のテーマは「末」。早いもので、今年も残りひと月となりました。  
年末に向けて何かと気忙しくなる12月、「末」にまつわる資料を紹介し  
ます。師走の週末のお供にいかがでしょうか。

公式Facebook

<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>